

新潟市南区体育施設指定管理者申請者評価会議  
白根総合公園体育施設ヒアリング 議事録

- 1 開催日時 令和5年10月13日（金）午後1時20分から午後2時00分
- 2 会場 南区役所 4階 講堂
- 3 出席者 評価会議委員：細田 隆史、山本 悦史、渋川 順  
事務局：南区地域総務課職員4名
- 4 傍聴者 5名

5 要 旨

(1) 公益財団法人新潟市開発公社によるプレゼンテーション（省略）

(2) 質疑応答

(渋川委員)

地域貢献ということで、学校などへの施設への出向はどれくらい行っているか。どのような内容のものが地域から要請されているのか教えてください。

(申請者)

学校関係ですと、フロアカーリングの体験会という形で、フロアカーリングの講習会をスタッフ2名ほどで指導するというものがあります。それ以外がなかなか無いですが、もし水泳の授業などを要望されれば、毎回は行けないですが1、2回ほどであればピンポイントで行く準備は出ています。

学校以外であれば、白根総合病院の組合や地域生活センターでウォーキングの講習などをしていきます。あとは茨曽根の団体で、こちらに来ていただいて柔道場で健康教室という形で指導をしています。

(山本委員)

私からはいくつかの観点から、4つほど質問させていただきます。

まず、プール施設について、事故防止の観点からお聞きしたい。今年はかなり暑くなりましたが現状では冷房が完備されている施設が少ない中で、具体的にどんな対策をとっているのか、また、これからどのように対策をとっていくかお聞かせください。

(申請者)

プール施設に関しましては、今年は特に酷暑で暑い中、水温も上がりやすい状況でしたが冷却する装置が無いので、真水を入れる機会をなるべく多くしたりして水温が32度くらいで収まるように水の入れ替えをしたり、プールクリーナーで水を捨てる回数を増やして水温が上がらないようにしました。あと、窓が開けられるプール施設ですので、なるべく朝早い段階から開けて室温が上がらないように工夫して対応しておりました。

(山本委員)

そのような対策の結果、実際に熱中症を防止でき、監視員の監視体制も機能しているという理解でよろしいでしょうか。

(申請者)

はい、そうですね。もしそのような症状のお客様がいらっしゃれば、涼しい場所に移動させたり、冷蔵庫の方にも熱中症用の経口補水液や飲料水を準備しております。

(山本委員)

次に、利用機会を拡大していくということで、実際に利用者の数も増えていますが、利用者数に関して新潟市全体の目標値を達成するために目標値を設定して取り組んでいるのか、もしくは現状を改善していくことが中心になっているか、という点に関して聞かせてください。

(申請者)

利用者数や参加者数の目標値達成につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響がありまして、かなり一般利用者とスポーツ教室の参加者数も減ってきていますので、まずはコロナの前の状況に戻すことを目標に、一般のお客様が来やすいよう環境を整備していくとともに、スポーツ教室の参加者を増やしていきたいと考えています。目標数値に関しては、コロナ以前からかなり減少したため、平成29年度、30年度の数値を目標にしています。スポーツ教室の参加者も減少したことで、収益という点から教室数をどうしても減らさなければならなかった状況はありますが、より新しい魅力のあるスポーツ教室を増やしていきたいと考えております。

(山本委員)

次に、利用者の増加という点について、新規の方々がどれくらいいるか把握する仕組みは持っていますか。

(申請者)

新規の方は来られていますが、統計はまだとれていない状況です。利用者数は集計していますが、新規の利用者数の把握については、今後の課題としてできるようにしていきたいと思っています。

(山本委員)

最後に、光熱費、物価高騰が日本全体で課題になっていますが、人件費を削ることでサービスの低下を招くことは防がなければならない。そういった難しい状況の中、現状の経費削減策でどこまで削減が可能か、自主事業のサービスなどの値段を上げることは視野に入れてありますか。

(申請者)

経費削減に関しては、非常に難しい問題ではありますが、スポーツ教室を増やすとその分光熱水費が掛かってしまいます。本当は教室の数を増やして参加者数を増やしたいところではありますが、節約しながら光熱費をどこまで削減できるかは、現状中々難しいところがあります。ただ、今後も教室の数や参加者の数は増やしていきたいと考えています。

(細田委員)

スタッフの労務や財務について質問をさせていただきます。働きやすい職場環境という観点から、スタッフの方の有休消化率を教えてください。また、従業員は正規職員だけでなくパートやアルバイトもいるのか教えてください。他にもすべてのスタッフが救急講習を受けているとのことでしたが、パートやアルバイトの人も受けているのでしょうか。

(申請者)

白根カルチャーセンターのスタッフの有休取得率は、正職員が61%、臨時職員が78%、パートが69%となっています。救急講習については、正規職員、臨時職員、パート職員全員が受講しています。

(細田委員)

財務諸表に関しまして、計上収益の報酬がかなり減っていますが、理由を教えてください。

(申請者)

嘱託職員の人件費が報酬という科目になっています。嘱託職員が徐々に少なくなっているため、報酬が減少しています。

以上終了